

2020年3月4日

防衛大臣 河野 太郎 様
陸上自衛隊中部方面隊総監 野澤 真 様

兵庫県平和委員会
兵庫県原水爆禁止協議会
安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会
安保破棄京都実行委員会
安保破棄・諸要求貫徹滋賀県実行委員会
安保破棄奈良県実行委員会
安保条約をなくし、平和と民主主義生活向上を
めざす和歌山県民会議
安保破棄兵庫県実行委委員会

「PAC-3 起動展開訓練」に抗議し、中止をもとめる申し入れ

防衛省発表資料によると、陸上自衛隊伊丹駐屯地で3月5日午前中に「PAC-3 起動展開訓練」を実施することになっています。

その訓練内容はPAC-3の主要構成器材を航空自衛隊の基地から展開場所である伊丹駐屯地に移動させ、器材の展開、作動確認、撤収までの一連の手順等を確認・演練するものとし、弾道ミサイルに係る戦術技量の向上を図るとともに、自衛隊の即応体制を示すことで国民の安全・安心感の醸成に寄与することを目的としています。

しかし、そもそもミサイル防衛は、核先制攻撃を可能にするために開発され、ミサイル迎撃の具体的プロセスは米軍との統合運用が前提です。

その戦術技量の向上をめざす訓練は、日本の平和と安全に逆行しアメリカと一緒に戦争する国づくりへと繋がるものであり日本国憲法を踏みにじり、軍事的緊張を高めます。

自衛隊発表の資料によるとこれまで「PAC-3 起動展開訓練」は、自衛隊/米軍基地内での訓練と一般の施設における訓練と合わせて2010年以来27回行われていますが基地内訓練では関西初であり全体でも兵庫県内での実施は初めてです。

2020年度予算における史上最高の防衛予算=軍事費、中東への自衛隊機と軍艦の派遣などアメリカと一緒に戦争できる国づくりを本格的に進めるのと軌を一にしたこのような訓練は決して許すことはできません。

又、今回の訓練実施の発表が訓練当日から極めて短期日であることに強く抗議するものです。

このような立場から今回の「PAC-3 起動展開訓練」に対し以下のことを要請します。

記

- 1、陸上自衛隊伊丹駐屯地における「PAC-3 起動展開訓練」を中止すること
- 2、訓練実施を決定次第ただちに公表すること

以上